

安全衛生だより第12号

1. 1月全国行事

- 1) 年末年始無災害運動 12月1日～1月15日

2. 安全・衛生・防災の心得

2020年は激動の一年となりました。新型コロナウイルスの問題は収束が見えず、社会的・経済的な打撃はもろろのこと、職場においても様々な影響を受け、例年とは状況が大きく異なっていると思われます。

2021年を新たな気持ちで迎えられるよう、年末は安全衛生活動を積極的に進めましょう。

12月は非常作業に加えて、冬季特有の災害や疾病のリスクも高まります。特に次の事項について、注意して下さい。

- ①忙しいからと、作業手順等を省略しない。
- ②年末の4Sは、日常作業の中で順次実施する。
- ③機械や設備の点検や整備も後回しにせず、決められた通りその都度実施する。
- ④非常作業等は、作業前に段取りや安全対策を十分検討して確認し、慎重に行う。
- ⑤TBM（作業前ミーティング）やKYK（危険予知活動）等は普段以上にしっかり行う。
- ⑥出勤や業務での車の運転は、時間に余裕を持たせ、安全運転を励行する。
- ⑦油ボロ等の自然発火事故防止、放火防止など、年末年始休業時の火災防止対策を厳重に行う。
- ⑧新年の立ち上げにあたって確認すべき項目や作業手順を、年内に定めておく。
- ⑨暴飲暴食、夜更かしなどをせず健康管理を徹底する。など。

3. 他社 事故・災害事例から：塗装ブース内で火災が発生し、3名が死傷

(1) 災害発生状況

粉体静電塗装ラインの塗装ブース内で吹き付けガンの取り替え作業を行っていたところ、突然ブース内で火災が発生し、避難・脱出に時間が掛かるなどして逃げ遅れ、全身火傷で1名が死亡、2名が火傷を負ったものです。



(2) 災害発生原因

- ①塗装ブース内の壁や床等に可燃性の粉体塗料が厚く付着・堆積していたこと（厚さ5～6mm）
- ②ブース内に持ち込んでいた投光器が落下破損したため、それが着火源となり、爆発的に燃え上がったこと。
- ③管理・監督者や作業者に当該塗装作業の危険・有害性の認識が不足しており、安全教育や安全対策等が実施されていなかったこと、など。

(3) 再発防止対策

類似災害の防止のためには、次のような対策の徹底が必要です。

- ①ブース内での塗料の吹き付け作業は外部からできるように改善する。
- ②ブース内等での粉じん火災を防止するため、有効な除じん装置を設置する。
- ③粉じんが多量にブース内に付着、堆積しないよう、定期的に掃除・除去を行う。
- ④可燃性の粉じん等が発生する場所の照明器具は着火源とならない構造のものとする。
- ⑤ブース内での作業等を行う際は作業前に十分安全対策を検討し、有機溶剤作業責任者の指揮のもとに行う。など。

- 環境安全部より：当社、構内作業安全基準書（改訂第2版）の中で、共通1-1・作業責任者、共通1-2・服装、保護具、共通1-4・安全衛生教育、作業2-6・有害物取扱作業を記載しておりますのでご参照下さい。

4. 当社 良い事例（抜粋）

●平塚第一工場

①産業医による腰痛対策講習会の開催



②落下物による労災の未然防止対策

（排水処理場の歩廊落下防止ネットの設置）



5. ヒヤリハット事例

●事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

| | |
|----------|--|
| いつ | 液の攪拌作業中 |
| どこで | 大型ライン槽で |
| 何をしている時に | 液調整後、ばっ気で使用した管を液から抜く前にエアースホースを外してしまい液抜きしなかった |
| どうなった | 管を液から抜き出したら逆流して出てきた |

6. 楽しく学ぼう4コマ漫画：ヒューマンエラー



以上